

# はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。  
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2015年 3月発行

「はもりあフェスタ」を、盛況に終わることができました。初めて参加された方も多く、広く市民の皆さんに“はもりあ”の活動を知っていただけたことは、とても嬉しいことです。また、熱心に準備に携わっていただいた企画運営委員の皆さんに、感謝いたします。これからも“はもりあ”は、“市民の皆さんと共に”歩んでいきたいです。

## 2月20日(金) ~22日(日) 「はもりあフェスタ2014」 ~気付こう、築こう、男女共同参画~ を開催しました!

### ★2月20日 オープニング



【三重混声合唱団・あんだあれ70】

オープニング部会長による開会宣言でスタートした、はもりあフェスタ2014。三重混声合唱団・あんだあれ70の歌声が会場に響き、「お祭りマンボ」で盛り上がり、参加者も一緒に歌った「ふるさと」で会場が一つになりました。

続いて、オープニング部会委員による、「ワークショップの紹介」と「津市男女共同参画フォーラム実行委員

員会からお借りした電子紙芝居『男女共同参画ってなに?』をしました。身近なところに男女共同参画の課題があるということに気付いていただき、みんなで協力して男女共同参画社会を築いていこうという、テーマにぴったりのオープニングイベントになりました。



【電子紙芝居】

### ★2月22日 エンディング テーマ:女性の活用というけれど…女の男の働きづらさ・生きづらさ

しんぐるまざーず・ふぉーらむ代表の赤石千衣子さんと、甲南大学名誉教授の熊沢誠さんのお二人を講師にお招きしました。講師による講演と、お二人の対談が行なわれました。

#### ①シングルマザーとシングルファザーの貧困 講師:赤石 千衣子さん

母子家庭の平均年収は、223万円。父子世帯で380万円となっており、日本のひとり親の8割が働いているが、そのなかでも非正規雇用の人が非常に多くなっているという実態を、データを示しながら話されました。また、日本のひとり親世帯貧困率は、OECD加盟国の中でも非常に高く、ひとり親世帯の子どもの貧困率は50%を超えているとのことでした。



【赤石千衣子さんの講演】

#### ②非正規労働のしくみと現状 講師:熊沢 誠さん

正規雇用者数、非正規雇用者数、非正規雇用率の推移が示された図を使って、非正規雇用の現状を説明されました。2012年現在で、女性の非正規雇用率は50%を超えている事にふれながら、1982年8、3%であった男性の非正規雇用率が、2012年には22、1%まで上昇している事も取り上げ、男女共に非正規雇用が増えているという点を指摘されました。また、仕事を転々としなければいけないことや、管理者に抗う事が出来ない、非正規雇用のしんどさについても話されました。



【熊沢誠さんの講演】

#### ③対談 お二人の講師の対談



熊沢さんの進行で、対談していただきました。

お二人それぞれの講演を聞いて、参加者から挙げた質問の回答をテーマにした内容や、ひとり親家庭への支援として、民間支援が増えてきてはいるが、まだまだ行政が担うべき役割も大きいのではないかと、というお話もされました。

【対談の様子】

# おかげさまで

はもりあフェスタ  
来場者数  
延べ1360人!

## はもりあフェスタ企画運営委員会

「はもりあフェスタ」は、登録グループ間の交流や男女共同参画について考えるきっかけづくりのイベントを行うことを目的に、登録グループと行政が協働して企画・運営いたしました。

15人の企画運営委員の皆さんには、8月から開催日まで4回の企画運営委員会全体会と各部会（オープニング部会、エンディング部会、チャレンジショップ部会）で企画を進めていただきました。

各部会においても、より良いものを目指しアイデアを出し合いました。また、来年度にも繋げていきたいと思っております。



【企画運営委員会全体会の様子】



【オープニング部会】



【チャレンジショップ部会】



【エンディング部会】

## チャレンジショップ

30の出店があり、たいへん賑わいました。出店者からは、「来年度もぜひ参加したいです」との声もいただきました。

また、起業支援の講座の中で成功事例を紹介してほしいという声も多くあり、今後の企画に反映していきたいと思っております。



【チャレンジショップ1Fホールの様子】



ランチメニュー  
・おでんセット  
・焼きたての  
けんちん汁  
・ケーキセット



【3Fミーティングフロアランチの様子】

【適職診断のブース】  
三重県雇用経済部雇用対策課主催



## ワークショップ

～市民企画講座～

女だから、男だからという性別にかかわらず、個性と能力を發揮できる男女共同参画社会の実現に向けて、はもりあ四日市登録グループが企画・運営する14のワークショップが開催されました。各グループの特徴を活かしなが、趣旨を踏まえた内容の講座でした。参加者からは、「いろんな問題を考えるきっかけになった」「とてもたのしく学ぶことが出来ました」などの感想をいただきました。ご参加いただき、本当にありがとうございました。



【自分磨き】



【子育て・介護支援】



【健康】



【男女共同参画】

～はもりあ四日市企画講座～

『男女共同参画の視点からみたメディア・リテラシー』



【講師：渋谷典子さん】

自ら情報を読み解く能力(メディアリテラシー)を養う講座です。メディアから発信される膨大な情報が、どんな意図で作られ、発信されているかを、自分で判断し、活用することの大切さを教えていただくと同時に、各グループで楽しく考える時間を持ったワークショップでした。



【グループでの話し合い】

『『東海道中膝栗毛』に描かれた三重の女性たち』

十返舎一九が『東海道中膝栗毛』を書いた時代は、旅行ブームが起こった時代でした。旅したことのない人は、この本の中に旅へのあこがれを感じ、また旅したことのある人は、弥次さん喜多さんの失敗談に笑いこらげて読みました。今回は桑名→追分→山田→伊勢神宮の旅を取り上げ、その中に登場する三重の女性について熱く語っていただきました。



【講師：河原徳子さん】



【講座の様子】

## 展示

はもりあ四日市登録グループの活動内容とジェンダー川柳を展示しました。

【登録グループの活動内容】



【ジェンダー川柳】

広報はもりあでも募集広報をしていましたジェンダー川柳。おかげさまで、富洲原中学校の生徒の皆さんの作品をはじめ、132の川柳をいただきました。フェスタ参加者にも、お気に入りの作品へシールを付けていただきました。

【たくさんシールが貼られた川柳の紹介です】

- ・台所 エプロン姿の 親父の背
- ・セクハラは 職場の癌だ メス入れる
- ・女だよ 古希になっても つけまつげ
- ・家の事 サービス残業 私だけ
- ・壁ドンを 女もやりたい イケメンに
- ・お父さん まかせることなく 自分でね



# 父親の

# 平成26年度 子育てマイスター認定式



今年で5年目の子育てマイスター養成講座、今年度も、13人の「父親の子育てマイスター」が誕生しました。

9月28日のNPO法人ファザーリングジャパン前代表 吉田大樹さんの公開講座「笑顔のパパ・育児を楽しむパパ～パパの変化が家庭をHAPPYにする」から始まり、妊婦ジャケットを身につけて歩く体験やおやつ作り、子どもとの遊び方、先輩パパとの懇談会など計6回の講座を実施しました。回を重ねるごとに、パパたちのつながりが深まりました。また、今回の子育てマイスター養成講座では、ママ講座も同時開催され、パパだけでなく、ママ同士の交流も深まり、家族間の交流もできました。



【子育てマイスター5期生一同】

2月14日の認定式では、これまでの活動について、笑いあり、涙ありで報告した後、認定証の授与式。そして「家族第一のパパになる」「家族が大好き！！自慢のお父さんになります！！」「マイスターの名に恥じない親父になる」「笑顔あふれるあったかい家庭を築きます」など、ひとりひとりが「パパ宣言」をしました。新しいマイスターたちは、「おとうさんもいっしょ」というグループを結成。はもりあ四日市は、これからの活動を応援していきます。

## 登録グループイベント情報

はもりあ四日市に登録されているグループを紹介します。

今回は

### ことのは 言の葉

さんです。代表 福田 かよ子  
連絡先 090-6096-8128



#### 脳にスパイスを、文章教室「言の葉」

河原徳子先生（日本文学研究家・三重県生涯学習センター講師）に、エッセイ・小説の綴り方を学んでいます。初心者から四日市市、鈴鹿市の文藝賞を受賞した方々まで12名の会員で楽しく、真面目に文章教室を開いています。

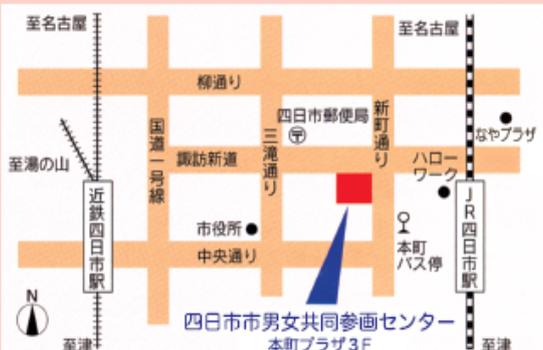
河原先生から頂いたテーマに沿って瞑想・妄想を巡らせ、原稿用紙3枚程度に書いた作品を発表して、みんなで切磋琢磨、研鑽を積んでいます。

『となりの文豪』でブレイクした、快潤、明快な河原先生の文学的講義も楽しく、すこし停滞した脳に愉楽をもたらし、思考、記憶の脳細胞が活発になること間違いありません。

奇数月の金曜日、13:30から15:30まで、本町プラザ3階、参加費800円。

◎◎あとかぎ◎◎

こんにちは！はもりあ四日市の清水です。2月20日から22日まで3日間開催した「はもりあフェスタ」も天候に恵まれ、多くの方にご参加いただくことが出来ました。「はもりあフェスタ」に参加いただいた皆さま、企画・運営に関わってくださった皆さま、本当にありがとうございました。



### 四日市市男女共同参画センター（はもりあ四日市）

〒510-0093 四日市市本町9-8 本町プラザ3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00~PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml>